

令和 3 年（ネ）第 83 号放送法遵守義務確認等請求控訴事件

控訴人 宮内正巣外 109 名

被控訴人 日本放送協会

証拠説明書（42）

2021年6月26日

大阪高等裁判所第6民事部B1係御中

控訴人ら訴訟代理人

弁護士 佐藤真理



甲 512

NHKWEB特集「声を上げれば世界は変えられる」核兵器禁止条約発効へ

（写し） 2020年10月26日

作成者 被控訴人

立証趣旨

核兵器禁止条約問題をウェブ特集で取り上げながら、唯一の被爆国である日本が同条約に批准しないことについては「政府は、核廃絶という目標は共有しつつも、条約は核兵器の削減にはつながらないとして、参加しない方針をたびたび示してきた」と報道し、最後に ICAN のフィン事務局長の日本へ向けたメッセージ「核兵器がもたらす人道的影響、経済的なダメージ、そして代償を直接知っているのは日本だけです。核兵器禁止条約に参加することをなぜためらうのか、何を恐れているのか」を紹介し、視聴者に対し、「世界を変えてきた彼らの思い、

あなたはどう受け止めますか？」と疑問を投げかける形で終わってしまっており、核兵器禁止条約参加に消極的な政府に配慮する報道に留まっていること等

甲 5 1 3

朝日新聞社説 写し 2021年1月22日

朝日新聞社

立証趣旨

「核兵器禁止条約発効 廃絶元年、新たな歩みを前に」と題する社説で、「戦争被爆国である日本は主体的な外交努力を強め、核禁条約への参加を果たさなければならぬ」などと主張していること等

甲 5 1 4

毎日新聞社説 写し 2021年1月23日

毎日新聞社

立証趣旨

「核兵器禁止条約と日本 被爆者の思い継ぐ関与を」と題する社説で、「条約発効を機に、『核なき世界』に向かう道を改めて探らなければならない。まずは、条約の締約国会議にオブザーバーで参加することを検討すべきだ」などと主張していること等

以上